

活動名：第9回福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 U8 フレンドリーマッチ

日 程：令和3年12月11日（土）

会 場：本宮総合グラウンド

参 加：J2 クラス：2名、J1 クラス：11名

結 果：フレンドリーマッチのため順位なし

さくら△1-1、大玉○2-1、ブリジャン○3-0、岩根○4-3

帯 同：渡邊コーチ

今年も福島民報杯スポ少サッカー岩根大会 U8フレンドリーマッチに参加したので報告します。

今年は2年生の参加が2名だったので、試合の鍵を握るのは、11名の1年生と考えていました。大人の想像を超えた発想力で、数々の事件を巻き起こす1年生が、ちゃんと試合をしてくれるのか。私の戦う相手は、対戦チームだけではありません。試合の方式は15分1本勝負で、ピッチサイズはフットサル、オフサイド無しの基本サッカールールとし、人数は対戦相手と協議で決め、原則8人制で試合をしました。

試合は、4試合で3勝1分。初戦のさくら戦は、お互いにチャンスをものにすることができずに時間が過ぎていたところ、相手のロングボールからゴールを決められてしまいました。それでもなんとか同点に追いつくことができました。13名がそれぞれ今できる自分の力を十分に発揮していました。次の大玉戦は20分だったためか、苦しい表情を見せる選手もいましたが、見事勝利。3試合目のブリジャン戦は、中々ゴールすることができずにいましたが、常に主導権を握ったゲーム展開でした。そして、最終戦となった岩根戦。この戦いは、時間との勝負でもありました。理由は6人制。我がチームは13名。2年生の2名をフル出場させた上で、残る11名の起用法がポイントになりました。ここまでの3試合を見てある程度のポジション適正からスタートのメンバーをきめ、そして交代メンバーきめて戦いました。試合展開は、予想どおり2点を先行される苦しい展開。ここまでこまめに交代して体力を温存していた13名ですが、初めての対外試合ということもあり精神的な疲労もでており、どんよりしたムードが出始めていました矢先に生まれたゴール。これで1点差。これで息を吹き返しました。疲れが一気に吹き飛んだかのような押し押しムードへ。そして、ついに逆転3-2。しかしここで気が緩んだのか、同点に追いつかれ3-3。残り時間もわずかとなってもチームとして4点目を狙い前線からボールを奪いにプレスをかけ続け、見事4点目！その後、しっかり守り逆転勝利をおさめました。

総括ですが、この年代は、まだ自分とボールしか認識することができない傾向があります。そのため、どうしても団子サッカーになります。しかし、安心してください。これも今だけです。子供たちは、これから沢山の成功と失敗を経験する中で最良の答えを導き出します。私たちコーチは、そのための気づきを選手に促し、サッカーの魅力を感じさせていきますので、引き続き、お子様の成長を見守っていただくと幸いです。

最後に、父兄の皆様、寒い中、朝から応援していただき、選手たちは伸び伸びと全力で戦うことができました。本当にありがとうございました。

岩根 SSS 様、お誘いいただき、ありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

コーチ：渡邊



